

広島商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	機関英語		
科目基礎情報							
科目番号	1932217		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科 (機関コース)		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	英和船用機関用語辞典、はじめての船上英会話						
担当教員	加藤 由幹						
到達目標							
(1) 技術文書を読み解き、内容を理解することができる (2) 実施した英会話の内容が理解できる (3) 二級海技士 (機関) の英語問題が理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	実施した技術文書の内容が理解できる。		実施した技術文書の内容が理解するために必要な基礎力を身に付ける。		技術文書を理解するために必要な基礎事項が理解できない。		
評価項目2	実施した英会話の内容を用いて簡単な会話ができる。		実施した英会話の内容が理解できる。		英会話の理解に必要な基礎事項が理解できない。		
評価項目3	二級海技士 (機関) に合格できる。		二級海技士 (機関) の英語問題が理解できる。		二級海技士 (機関) の英語問題が理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海事技術者として英語力の重要性は年々高まっており、産業界からも英語力を確かなものとするよう要望されている。本授業においては、機関系技術者として必要な技術文書並びに英会話を中心に実施する。この授業では外航船員に必須である二級海技士 (機関) の英語を学び、海事技術者としての総合的な英語力を身につけることを目的とする。						
授業の進め方・方法	配付資料を基に講義を行う。 英語の基礎部分の講義・確認テストも併せて行う。						
注意点	平常時の取り組み態度を重視する。語学系の科目であるため、毎回の取り組みの積み重ねが非常に重要である。事前にシラバスで授業内容を確認し、専門用語など予習復習しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	英会話	基礎的な単語/文の発音ができる。			
		2週	技術文書の読解	慣用語句及び専門用語を理解できる。			
		3週	技術文書の読解	取り扱い説明書に関する英文の日本語訳ができる。			
		4週	技術文書の読解	取り扱い説明書に関する英文の日本語訳ができる			
		5週	英会話	機器に関連する英文の日本語訳ができる			
		6週	英会話	機器保守作業に関連する英文の日本語訳ができる			
		7週	英会話	機器保守作業に関連する英文の日本語訳ができる			
		8週	技術文書の読解	船上日誌に関連する英文の日本語訳ができる			
	4thQ	9週	技術文書の読解	報告書に関する英文の日本語訳ができる			
		10週	技術文書の読解	操作マニュアルに関連する英文を理日本語訳できる			
		11週	技術文書の読解	科学雑誌に関する英文を日本語訳できる			
		12週	英会話	その他業務に関連する英文を日本語訳できる			
		13週	英会話	その他業務に関連する英文を日本語訳できる			
		14週	英会話	その他業務に関連する英文を日本語訳できる			
		15週	前期末試験				
		16週	答案返却・解説				
評価割合							
	試験	提出物など	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	5	0	15	100
基礎的能力	50	0	0	5	0	15	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0